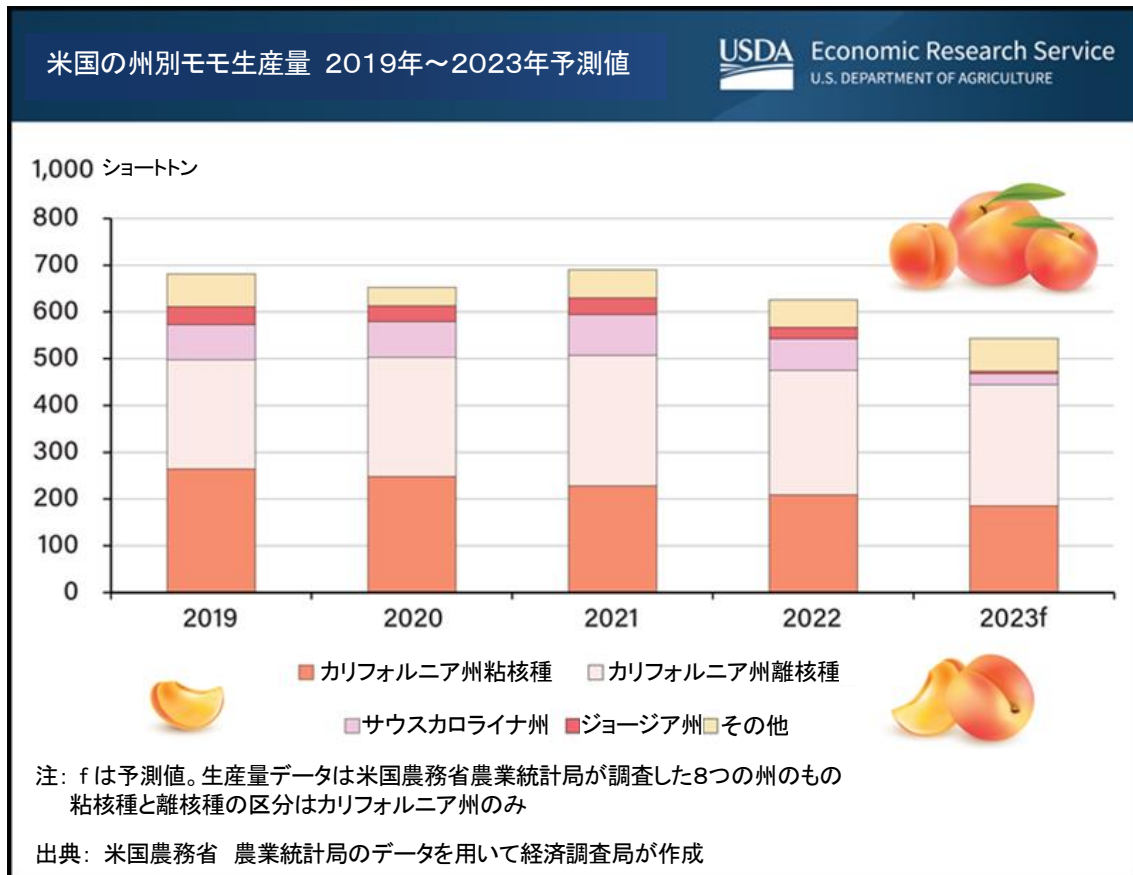


米国 カリフォルニア州のモモ生産は減少するも全米をリード

The Packer 2023年8月22日

モモの産地の理想的なイメージとしてジョージア州(米国では「モモの州」と呼ばれる)を思い浮かべる人も多いが、カリフォルニア州が圧倒的に最大のモモの産地であり、米国農務省(USDA)農業統計局によると、米国のモモ全体のほぼ4分の3がカリフォルニア州で生産される。

2022年には、カリフォルニア州は47万5千トンのモモを収穫した。最近の米国農務省経済調査局の報告書によると、2位はサウスカロライナ州で収穫量はわずか6万7,400トンであり、ジョージア州は2万4,800トンで3位であった。



州別のモモの生産量(提供: 米国農務省経済調査局) 訳注: 1ショートトン=907.18474 キログラム

モモの生産量の減少を理解する

カリフォルニア州はモモの収穫量で全米をリードしているが、その生産量はほぼ20年間減少傾向にあり、米国全体のモモ生産量の減少要因となっている。米国農務省農業統計局によると、62万トンが収穫されたとの報告がある2014年以降、カリフォルニア州ではモモの収穫量が減少している。同局によると、昨年は減少傾向がやや安定したようで、2023年には2022年の47万5千トンから48万トンに増加する(原文のまま)。

国内生産量を減少させる今年これまでの要因としては、ジョージア州とサウスカロライナ州では晩冬の季節外れの暖かい天候や晩春の寒波など、厳しい気象条件を経験した。カリフォルニア州の前例のない雨と寒さも、モモの出荷シーズンの開始を遅らせる一因となり、2023年の米国全体のモモの収量が低下した。

2022年の米国内のモモの総生産量は62万5,680トンと推定され、2019年より8%少ない。2022年のカリフォルニア州のモモの収穫量は2019年よりも約5%少なく、10年前に比べると27%近く減少した。農業統計局の最新の報告書では、2023年のモモの総生産量は、前年に比べ13%減少すると予測されている。

執筆者: クリスティン・リー・ロア